

**取扱説明書**  
**マルチケーブルテスター**  
**製品型番: HCF168**

## 概要

・このテスターにより、対応ケーブルのピン配列が正しく配置されているかどうかを簡単な操作で読み取ることができます。

対応ケーブルのモジュラーは次の通りです；

⇒【RJ-45】:CAT5, LAN (UTP/STP), 1000Base-TX, 100Base-TX, 10Base-T, EIA/TIA 568A/568B, AT&T 258A, 【USB-A/A】 【USB-A/B】 【RJ-11/RJ-12】、【BNC】:COAXIAL, RCA

- ・ケーブルの両端が手元にある場合は、マスターテスターのみで検査できます。
- ・リモート終端器を分離して使うと、パッチパネルやウォールプレートなどに設置されたケーブルコネクタの両端に取り付けて検査できます。
- ・RJ-11/RJ-12 をテストする場合、付属の (RJ-45 からの) 変換アダプタを装着することで簡単かつ正確に検査できます。

## 使用方法

1. 「マスターテスター上の” TX” と記載のある側のコネクタ」に【RJ45/USB】ケーブルの一方を挿し込み、他方を「同上” RX” 記載側のコネクタ」、または「リモート終端器側のコネクタ」に挿します。
2. テスターの右側面にあるスイッチ位置を” TEST” にすると；  
「ステップバイステップ」モードにより、1 番ピンに対応する TX/RX それぞれの LED が点灯します。また、上面の” TEST” ボタンを押す度に接続された番号 LED が昇順で点灯していきます。  
同スイッチ位置を” AUTO” にすると；  
「オートスキャン」モードにより、LED の上列” TX” 側が 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, Ground の順に自動点灯すると同時に、対応する下段” RX” の LED も点灯します。
3. LED 表示の結果を見れば、検査したケーブルの接続状態を正しく読み取ることができます。異なる LED 表示がされた場合、ケーブルはショート、反転、結線間違い、またはクロス結線されているかもしれません。

## リモート終端器

1. マスターテスター上の” TX” 側コネクタと、リモート終端器上のコネクタを接続します。  
【RJ45】ケーブルがパッチパネルやウォールプレートに終端接続される場合、スイッチを” AUTO” モードに設定し、アダプタケーブルを使って下さい。
2. マスターテスター上のピン配列表示に対応するリモート終端器上の LED が順に点灯を開始します。

## 注意事項

- ・乾電池の容量が低下すると、LED の光が薄れたり表示しなくなったりして、テスト結果が不正確になります。

## 結線図

